

近代英語協会ニューズレター

2017年(平成29年)12月29日

近代英語協会事務局分室

〒722-8506 広島県尾道市久山田町 1600-2

尾道市立大学芸術文化学部平山研究室内

協会ホームページ <http://www.modernenglish.jp/index.html>

電話: 0848-22-8311 大学代表番号

年会費振替口座 00810-9-5821

1 近代英語協会第35回大会について

第35回大会は、2018年6月23日(土)に、京都大学文学部(京都市左京区吉田本町)において開催されます。大会閉会後には、会場近くで懇親会も予定しております。全国的に宿泊施設が不足傾向にありますので、遠方からお越しの方は早めに宿泊施設のご手配をお願いいたします。

シンポジウムは、広島大学の今林修先生を司会として、話法に関するテーマで行われます。また、京都大学名誉教授・本協会顧問の豊田昌倫先生と、Ben Crystal氏による連結講演が行われます。David Crystal氏のご子息であるBen Crystal氏は、Shakespeareのoriginal発音(OP)の研究をされているイギリスの俳優で文筆家・演出家です。なお、Ben Crystal氏の講演は、広島英語研究会(ERA)との共催となります。

個人研究発表の締め切りは2018年1月31日(水)です。発表をご希望の方は、(a)発表題目と300字程度の要旨、(b)氏名・所属・職位・略歴・連絡先(住所、電話番号、Eメールアドレス)・大会発表助成金希望の有無(※参照)を別文書として作成し、下記の(ア)、(イ)いずれかの方法でご応募ください。

なお、本協会の趣旨により、発表内容は近代英語の研究、あるいは近代英語を含む英語の歴史的研究に資するものとしてください。

(ア) Eメール添付による応募

- ・ (a) MSWord文書、及びそのPDFファイルを添付
- ・ (b) MSWord文書のみ

宛先 hirayama@onomichi-u.ac.jp

(イ) 郵送による応募

- ・ (ア) の(a)と(b)の両方を入れたCD-R
- ・ 打ち出し原稿

宛先 〒722-8506 広島県尾道市久山田町 1600-2

尾道市立大学芸術文化学部 平山直樹

※ 大会発表助成金制度について

本協会では、学会参加への費用を軽減し、若手研究者を中心に学会発表を奨励するため、学会発表助成金制度を設けております。助成対象者は、発表を行う大学院生・常勤職のない会員(発表を行う年の4月1日時点で37歳以下または修士号取得後10年以内で、所属機関等より大会会場への交通費の補助を受けていない者)といたします。また、助成金額は、自宅から大会会場までの国内交通費(往復)とし、交通費の計算は協会事務局が行います。なお、申請方法は、大会発表の受理後に、申込用紙(発表応募時に希望を明記)に詳細を記入し、事務局にご提出頂きます。多くの発表の応募をお待ちしております。

第 35 回大会より、経費削減、および利便性向上のため、大会・懇親会への出欠を E メールでお知らせいただくことといたしますので、会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。なお、E メールアドレスの登録のない方については、従来通り葉書を同封いたします。

2 『近代英語研究』第 34 号の発行について

5 編の論文、5 編の研究ノート、6 編の書評のご投稿がありました。ご応募いただきありがとうございます。編集委員会の厳正なる審査結果は次のとおりです。2018 年 6 月の発行を目指して、現在編集作業が進められております。

	論文	研究ノート	書評
掲載可		1	4
再審査	3	1	2
掲載不可	2	3	

3 『近代英語研究』掲載論考の転載(および刊行)許可申請手順について

『近代英語研究』に掲載済みの全ての論考の著作権につきましては本協会に属することをご理解いただきたいと存じますが、掲載済み論考を著者の方がご自身の学位論文へ転載を希望される場合、および、その論考が転載された学位論文の刊行を希望される場合もあるかと存じます。そのような場合につきましては、編集幹事宛に所定の許可願をご提出いただくことで、協会から許可書を発行させていただくことになりました。ご希望の方には申請書をお送りいたしますので、編集幹事(坂内)まで E メールにてご連絡をお願いいたします。

4 『近代英語研究』投稿規定の趣旨改定について(第 35 号より)

大会個人研究発表の内容は、近代英語の研究、あるいは近代英語を含む英語の歴史的研究に資するものでお願いする旨を既にお知らせいたしました。『近代英語研究』投稿におきましても、協会趣旨を反映し、第 35 号より論文および研究ノートの趣旨に下記の通り下線部分の文言を追記することになりましたので、ご承知の上で、ご投稿をお願いいたします。

論文の趣旨(第 35 号より)：

近代英語の研究、あるいは近代英語を含む英語の歴史的研究に資する内容のものであり、未発表の論文であること。先行研究を十分に参看し、確かな研究テーマを設定し、精緻な分析を行い、明確な根拠に立脚し、新しい知見に富んだ独創的論考であること。

研究ノートの趣旨(第 35 号より)：

近代英語の研究、あるいは近代英語を含む英語の歴史的研究に資する内容のものであり、未発表のものであること。確かな研究目的を示し、その学問分野における新しい知見、展望ないしは方向性を予感させる内容を含んでいること。

5 『近代英語研究』第 35 号の投稿締め切りについて

第 35 号(2019 年 6 月発行)の投稿締め切りは 2018 年 9 月 15 日となっております。ふるってご応募ください。審査はすべて匿名で行われます。応募要領については、協会ホームページの「投稿要領」あるいは協会誌第 34 号(2018 年 6 月発行)の「投稿規定」をご覧ください。なお、応募原稿、同電子ファイルの送付先は以下の通りです。

電子ファイル

sme.meajapan@gmail.com

打ち出し原稿

〒794-2593 愛媛県越智郡上島町弓削下弓削 1000

弓削商船高等専門学校総合教育科 坂内宏行

なお、英語論文に関して、英語を母語としない投稿者については投稿前に必ずネイティブ・スピーカーによる原稿のチェックを受けた上でご応募ください。また、学会誌への二重投稿はお控えください。

6 編集委員の交代について

2018年3月末日をもって、編集委員の大村光弘先生、小塚良孝先生、柴崎礼士郎先生、長野明子先生の4名（五十音順）が任期満了となります。2期4年間にわたり編集委員会の運営にご尽力いただきありがとうございます。また、柴崎先生には、2016年度と2017年度の編集委員長も務めていただきました。深く感謝申し上げます。

これを受けて、編集委員会では、後任の編集委員として神谷昌明先生（豊田工業高等専門学校）、島田雅晴先生（筑波大学）、遠峯伸一郎先生（鹿児島県立短期大学）、中川直志先生（中京大学）の4名（五十音順）を選出しました。新編集委員長につきましては、現在選出を行っております。正式に決まり次第、本協会ホームページ、および次号のニューズレター（2018年8月発行予定）にてお知らせ申し上げます。

なお、前年度のニューズレター発行時に就任に向けて途中であった矢橋知枝先生（仁愛大学）は2017年4月から正式に編集委員に就任されました。ご報告が遅れましたことをお詫び申し上げます。

7 近代英語協会最優秀新人賞ならびに優秀学術奨励賞について

『近代英語研究』第33号掲載論文の中から、優秀学術奨励賞の授与が決定された、菊地翔太氏（東京大学大学院生：投稿時）におかれましては、第35回大会の総会時に授賞式が行われる予定です。

なお、賞には、最優秀新人賞と優秀学術奨励賞の2種類があります。若手による当該年度の掲載論文の中から、前者は特に秀でている論文に、後者は、最優秀新人賞には至らないが将来性を感じさせ、優れていると評価された論文に与えられます。最優秀新人賞には表彰状と記念品が、優秀学術奨励賞には表彰状が授与され、その荣誉が讃えられます。

選考対象は、「協会誌への掲載が可となった、投稿締切日時時点で37歳以下の、または修士号取得後10年以内の執筆者による論文のうち、原稿応募時に「執筆者情報ファイル」において賞の選考を希望する意思が表明されていた論文」（選考規程第2条より）です。選考希望の意思表示のため、論文投稿の際、「執筆者情報ファイル」内の項目3の該当欄に「○」をご記入ください。

8 『近代英語研究』電子アーカイブ化

J-STAGE（独立行政法人科学技術振興機構）に、『近代英語研究』が電子アーカイブ化されております。現在、創刊号から第24号（2008年発行）までの論考をパソコン画面上でお読みいただいたり、印刷したりしてご活用いただけます。

検索方法がリニューアルされています。個々の論文をお探しの場合は、検索サイト（Google、Yahooなど）で「j-stage」と入力して検索し、「J-STAGE トップ—科学技術振興機構」からサイトに入り、中央上部のボックスにお探しの論文のキーワード等を入力して検索してください。ここで「近代英語

研究」と入力すると、『近代英語研究』に掲載された個々の論文が表示されます。

『近代英語研究』に掲載された論文の中でのみ検索される場合は、近代英語協会のホームページ<<http://www.modernenglish.jp/index.html>>左下の「協会出版物」内のリンクからが便利です。

なお、第25号（2009年発行）以降の論考についても、事務局からアーカイブ化の申込みを行い受理された状況です。いましばらくお待ちください。また、『近代英語研究』の冊子と同様に、すべての著作権は本協会に帰属することをご了解いただきたく存じます。

9 会費納入のお願い

近代英語協会は、皆様の会費により運営されております。会費が未納の方は、恐れ入りますが、早めにご入金くださいますよう、お願い申し上げます。なお、3年間未納の場合は、規定により退会となりますのでご注意ください。

10 所属、および連絡先通知のお願い

所属、および連絡先（住所、Eメールアドレス等）に変更があった場合は、速やかに事務局長（平山）までお知らせください。学生会員の方が学生の身分を終えられた場合も、会員種別が一般会員へ変更となりますので、忘れずにお知らせください。

なお、大会案内と年2回のニューズレター（夏号は『近代英語研究』同封）の他にも、事務局からご連絡を差し上げることがございます。その場合、Eメールをお送りしますので、新しい所属、および連絡先を通知いただく際は、できる限りEメールアドレスを添えてください。

また、住所等が正しく登録されているか確認を希望される場合も、事務局長までお問い合わせください。

11 事務局より

2017年夏発行のニューズレターの「3 理事の交替について」において、小倉美知子先生の名前を「美智子」としておりました。正しくは「美知子」です。お詫びして訂正いたします。

菊池繁夫先生を会長とする本事務局は、この10月より2期目を迎えました。2期4年の任期ですので、今後約2年間、事務局一同引き続き尽力してゆく所存です。これからも、本協会発展のために、会員の皆様からご協力いただければ幸甚です。

協会に関するお問い合わせは、下記の連絡先までお願いいたします。

- 協会誌について
坂内宏行 (sme.meajapan@gmail.com)
- ホームページについて (会員の出版された図書紹介もお寄せください)
川端朋広 (kawabata@aichi-u.ac.jp)
- その他全般について
平山直樹 (hirayama@onomichi-u.ac.jp)

一 事務局長 平山直樹
良い年をお迎えください。